

第59回 河北文化賞

第59回（2009年度）河北文化賞は東北地方の学術、芸術、体育、産業、社会活動の各分野から推薦された候補者について審査委員会で慎重に審査した結果、次の通り受賞者が決まりました。贈呈式は16日午後1時から、仙台市青葉区の

16日に仙台で贈呈式

仙台国際ホテルで行われます。受賞者には財団法人河北文化事業団から本賞の賞牌（しよはい）、河北新報社と財団法人東北放送文化事業団、東北放送から副賞の金一封を贈ります。受賞者選考に当たり、各方面から寄せられた協力に深く感謝します。

（15面に業績紹介）

液晶の基礎研究および高性能液晶ディスプレイの開発

東北大学院工学研究科教授 内田 龍男氏

日本刀の制作を通じた日本人の心と文化の伝承

刀工 上林 恒平氏

もち性ヒエの開発とその利用による地域振興

岩手大農学部付属寒冷フィールド
サイエンス教育研究センター教授 星野 次汪氏

「最上川やまがた雛（ひな）の道」を提唱し、
春の観光を大きく発展させた功績

お雛さま研究家 安部 英子氏

財団法人 河北文化事業団／河北新報社
財団法人 東北放送文化事業団／東北放送